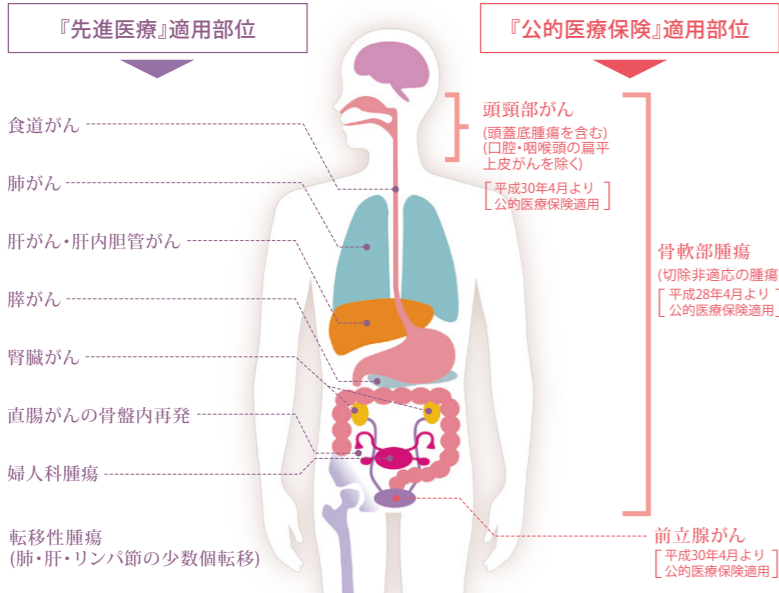


治療の可能性が広がります

【重粒子線がん 治療の対象となるがん】

【対象部位】

重粒子線がん治療の対象となるのは、ひとつの部位に留まっている固形のがんです。



【治療の対象とならないがん】

- 白血病のような血液のがん
- 広範な転移のあるがん
- 胃がん、大腸がんなど不規則に動く臓器のがん など

【治療費】

2016年4月からの切除非適応の骨軟部腫瘍に続き、2018年4月からは前立腺がんと頭頸部がんの一部が公的医療保険に適用されました。それ以外の治療については、先進医療として継続されます。

※公的医療保険制度については、平成30年4月現在の制度によります。今後、制度の変更に伴い、記載の内容が変わることがあります。現在では民間保険会社から、先進医療の費用を保障する保険商品が多数販売されています。詳しくは、各保険会社へお問い合わせください。

■公的医療保険適用可能な場合

公的医療保険適用		(診察・検査・薬代など)
(重粒子線治療)		
骨軟部・頭頸部	237万5千円	
前立腺	160万円	
(照射回数によらず)		
自己負担*	3割	保険給付 (7割)

※公的医療保険の場合、高額療養費制度の利用も可能です。
※公的医療保険適用部分の自己負担割合は、年齢等によって異なります。

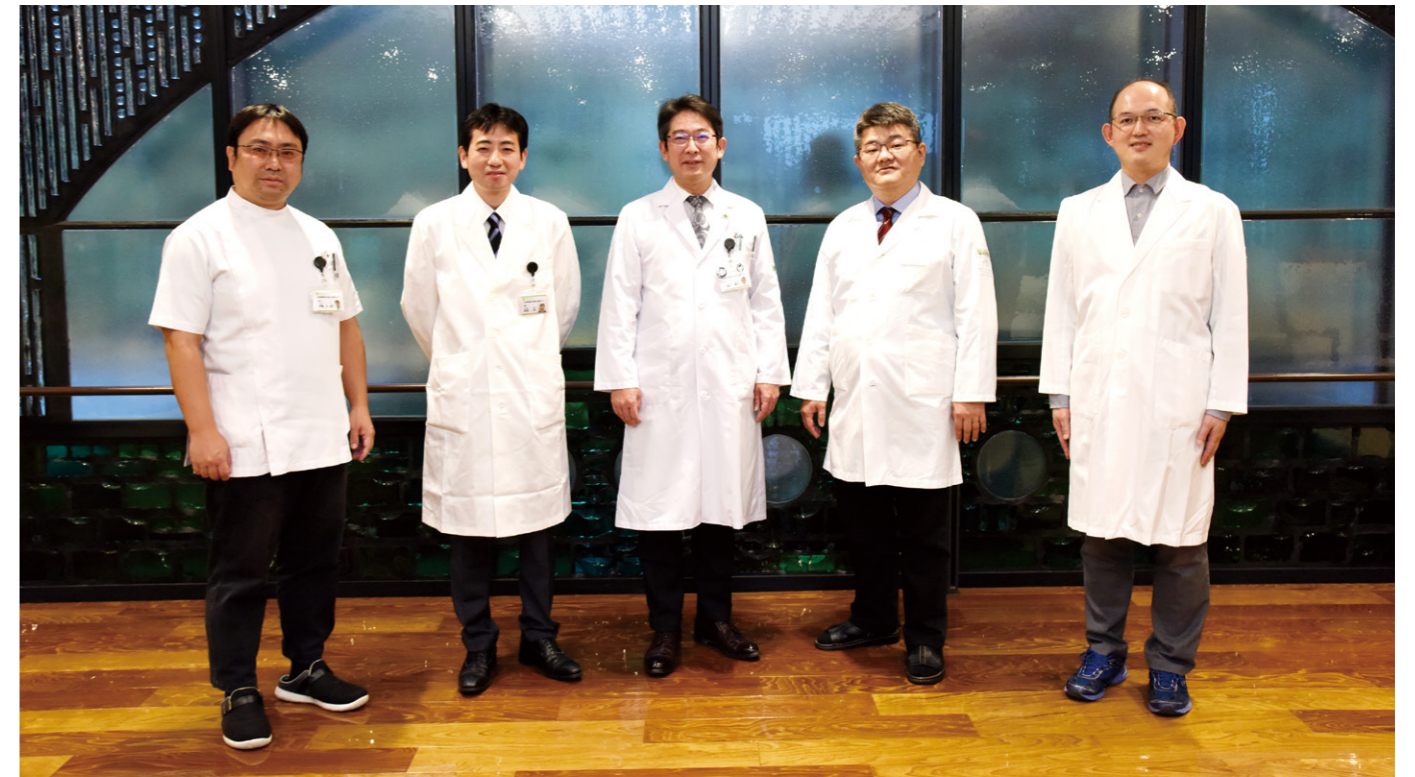
■上記以外の先進医療適用の場合

先進医療部分	公的医療保険適用部分	
(重粒子線治療)	(診察・検査・薬代など)	
314万円		
自己負担	自己負担 (3割)	保険給付 (7割)
(10割)		

※先進医療をカバーする民間保険が利用可能です。

サガハイマツ通信

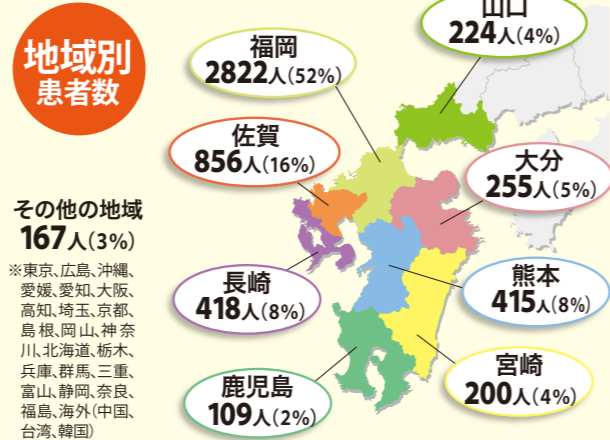
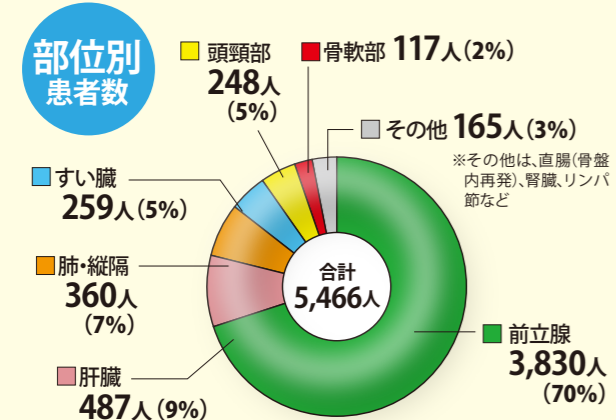
Vol.29
(2021年1月号)



(左から寺嶋広太郎診療副部長、松延亮診療部長、塩山善之センター長、末藤大明副センター長、戸山真吾主任医長)

データで見るサガハイマツ

(2020年12月末日現在)



●寄附をお願いします●

佐賀国際重粒子線がん治療財団では、引き続き皆さんからの寄附を募集しています。県内、ひいては九州のがん医療の充実につながるサガハイマツへのご支援をよろしくお願いいたします。

なお、当財団へご寄附をいただいた方には、特定公益増進法人に対する寄附として、税制上の優遇措置があります。詳しくは、当財団までお問い合わせください。

サガハイマツ通信 Vol.29

(2021年1月号)

【お問い合わせ】
発行 ■ 公益財団法人 佐賀国際重粒子線がん治療財団 (担当)本村
所在地 ■ 〒841-0071 佐賀県鳥栖市原古賀町 3049 番地
TEL ■ 0942(81)1897 FAX ■ 0942(81)1905
HP ■ <http://www.saga-himat.jp/>

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

昨年は、新年には予想もなかった新型コロナウイルスのパンデミックが広がり、人類のライフスタイルを全く変えてしまうほどの大変な一年となりました。令和3年は、その第3波の中で新年を迎えることになりましたが、ワクチン普及への期待は膨らむ一方です。

そのような中、サガハイマツは2013年8月に治療を開始して、お陰様で8年目を迎えております。2016年以降、公的医療保険が骨軟部腫瘍、頭頸部がん、前立腺がんに適用拡大され、昨年までの治療患者数は5400人を超えました。わが国の粒子線治療施設の中では年間治療数が最多となっています。これからも、新型コロナウイルスに万全の対策をとり、職員一丸となって、安心・安全の治療に邁進していきますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



公益財団法人 佐賀国際重粒子線がん治療財団 理事長 中川原章

CONTENTS ●地域連携室インタビュー ●重粒子線治療の対象部位や費用について



サガハイマツは、九州国際重粒子線がん治療センターの愛称です

サガハイマツの受診に関する相談窓口

電話 0942-50-8812
(受付時間:平日の9時~17時)
メール saga-himat@saga-himat.jp

九州国際重粒子線がん治療センター(サガハイマツ)

患者一人一人に誠意を持って向き合う
～地域連携室の役割～

地域連携室
インタビュー

重粒子線がん治療を受けたいと希望する患者さんの最初の窓口となるのが地域連携室です。普段は患者さんと直接顔を合わせることはありませんが、治療を始めるうえで重要な役割を担っています。地域連携室の役割や、日ごろの業務などについて聞きました。

■地域連携室とはどのような部署ですか。その役割を教えてください。

サガハイマツの地域連携室は、看護師で業務を行っており、これから重粒子線がん治療を受けようとする方の相談や、予約の受け付けなどを電話で行います。はじめから看護師が電話に应答しますので、治療に関する相談もスムーズな対応ができるかと思います。治療を受けた後の患者さんから相談を受けることもあり、必要があれば再度予約を取ることもあります。受診希望の相談が多いですが、一般の方から治療の内容や施設についてお問い合わせを受けることもあります。

2013年の開設当初に比べ、重粒子線がん治療が世間一般に随分浸透してきたと実感しています。各地の医療機関の医師から勧められて受診を希望する患者さんも増えました。重粒子線がん治療の一部が公的医療保険適用になったことも関心が高まった要因だと思います。

■具体的にどのような相談がありますか。

治療を希望しているが、自分の病状で重粒子線がん治療ができるのか、という相談が一番多いです。受診するためにはどのような手順が必要なのかよく質問されます。前立腺がんの場合、患者さん本人が直接電話して、相談されることも多いです。その他、患者さんのかかりつけの医師や病院の看護師から相談されることもあります。治療ができるかできないかの判断は私たちではできませんので、当センターの医師へ相談・確認を行います。明らかにサガハイマツで治療対象となっていない部位の治療を希望された場合は、その旨をお伝えすることもあります。まずはご相談いただき

たいと思います。

■電話をする際にあらかじめ用意しておいた方がいいものなどはありますか。

皆さん、病気になって、病院に相談することはとても不安だと思います。でも、心配しないでまずはお電話ください。お話を聞いたうえで、必要なものなどがあればそのときにお伝えします。

■重粒子線がん治療の内容についての問い合わせも多いと思います。

重粒子線がん治療は、放射線治療の一種です。エックス線治療との違いは、患部にピンポイントでがんへの殺傷効果が高い重粒子線を当てるので、照射する回数が少なく済みます。痛みもありません。サガハイマツに受診する際は、これまでの検査のデータや治療実績など患者さんの詳しいデータが必要となりますので、まずは担当の医師とハイマツ受診について相談をしてください。



受診の予約や相談などに対応する地域連携室。電話、メールで受け付けている

関心高まる重粒子線治療の最初の窓口



地域連携室長
岸川 亜里沙



看護師
大鶴 晶子

申し込みは、本人からでも受けることができます。サガハイマツはセカンドオピニオンとしての受診も可能ですので、遠慮なく相談してほしいと思います。

■受診まで「待たされる」イメージを持つ人もいますが、予約から初診まではどのくらいかかりますか。

予約の電話から初診までなるべくお待たせすることのないように工夫しています。これまで初診の方は、原則として月曜日・水曜日・金曜日に診察時間の枠を設けていましたが、お待ちいただく期間が少し長くなってきましたので、当センターの医師とも協力し、枠外での診察も増やしました。現在は遅くても1カ月以内に初診を受けられるようになりました。

診察時間は、特に初診の場合、時間がかかりますので余裕を持って設定しています。サガハイマツでは一人一人の診察時間を十分取っているので、予約受診時間が遅れることはほとんどなく、長くお待たせするようなこともありません。

また、さまざまな理由により来院できなかった患者さんがいても、必ずその日か翌日までに本人または家族に連絡して、別の日に予約し直します。

■重粒子線の治療費は高額なイメージがありますが、いくらぐらいかかりますか。

前立腺がんや頭頸部腫瘍、骨軟部腫瘍の一部については、公的医療保険が適用され、患者さんの保険負担割合に応じて自己負担額が定まります。高額療養費制度を利用すると平均的な年収の方の場合、約10万円が実質的な自己負担額となります。

一方、公的医療保険の適用となっていない部位については、先進医療での治療となるため、314万円が自己負担額となります。この場合、ご自身で民間保険の先進医療特約などに加入していれば自己負担額がカバーされることもあります。また、佐賀県に1年以上在住している方が重粒子線をはじめとする先進医療を受けた際、治療費の10分の1(上限30万円)の助成を受けたり、治療費を金融機関から借り受けた場合の利子が補給される制度もあります。

■新型コロナウイルス感染症の影響で、治療に影響はありませんでしたか。また、通院を心配する人もいないのでしょうか。

治療自体に大きな影響はありませんが、遠方から来院する患者さんやがん以外の基礎疾患がある患者さんには電話で様子を聞き、その方に適した受診となるように配慮することはあります。サガハイマツは、福岡県をはじめ、県外から通院する患者さんも多いので、入り口での検温はもちろんのこと、院内人数の調整や、スタッフの健康状態にも非常に気を配りながら、できる限りの感染症対策を行いますので、平常時とあまり変わらずに通院する方がほとんどです。がん治療という性質上、治療を中断するわけにはいきませんので、サガハイマツの全スタッフも、「絶対に院内感染を起こさない」ようにさまざまな感染対策を行っています。例えば、検温カメラや低濃度オゾン発生装置の設置、待合ロビーのいすの配置見直しなどを行っています。

■この仕事でやりがいを感じることは何ですか。

患者さんから「治療をしてよかった」と言われるととてもうれしいですし、無事に来院いただければ安心します。最初の窓口となる私たちが患者さんに寄り添い、誠意を持って橋渡し役となることで、治療への一歩を踏み出してもらえたらうれしいです。

サガハイマツの受診に関する相談は

サガハイマツ TEL 0942-50-8812
地域連携室 (受付時間:平日の9～17時) まで